

2023年7月31日 全7頁

## Indicators Update

## 2023年6月鉱工業生産

自動車の挽回生産に応じた部品の増産等で生産指数は上昇

経済調査部 エコノミスト 小林 若葉  
エコノミスト 岸川 和馬  
研究員 石川 清香

## [要約]

- 2023年6月の生産指数は前月比+2.0%と、コンセンサス（同+2.4%、Bloomberg 調査）をやや下回ったものの2カ月ぶりに上昇した。自動車の挽回生産に応じた部品の増産などが見られた自動車工業を中心に、幅広い業種で生産が拡大した。経済産業省は基調判断を「緩やかな持ち直しの動き」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は、緩やかな上昇基調が継続するとみている。自動車の挽回生産によって、当面は自動車工業が生産を押し上げるだろう。ただし、米欧などでの金融引き締めによる外需の縮小が国内生産に悪影響を及ぼす可能性には注意が必要だ。
- 8月7日に公表予定の6月分の景気動向指数は先行CIが前月差+0.1ptの109.3、一致CIが同+1.2ptの115.5と予想する。予測値に基づく、6月の基調判断は機械的に「改善」に据え置かれる。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2022年		2023年					6月	7月	8月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
鉱工業生産	+0.0	▲0.6	▲3.9	+3.7	+0.3	+0.7	▲2.2	+2.0		
コンセンサス								+2.4		
DIR予想								+2.4		
生産予測調査									▲0.2	+1.1
補正值(最頻値)									▲2.7	
出荷	▲0.4	▲1.2	▲3.2	+4.3	+0.9	▲0.2	▲1.1	+1.5		
在庫	+0.0	▲0.1	▲0.7	+1.0	+0.4	▲0.1	+1.8	▲0.1		
在庫率	+1.3	+2.2	+2.0	▲1.6	+1.3	+1.8	+1.5	▲1.2		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

## 【生産】自動車の挽回生産の本格化により、自動車部品の増産などが押し上げ

2023年6月の生産指数は前月比+2.0%と、コンセンサス(同+2.4%、Bloomberg調査)をやや下回ったものの2カ月ぶりに上昇した。自動車の挽回生産に応じた部品の増産などが見られた自動車工業を中心に、幅広い業種で指数が上昇した。経済産業省は基調判断を「緩やかな持ち直しの動き」に据え置いた。

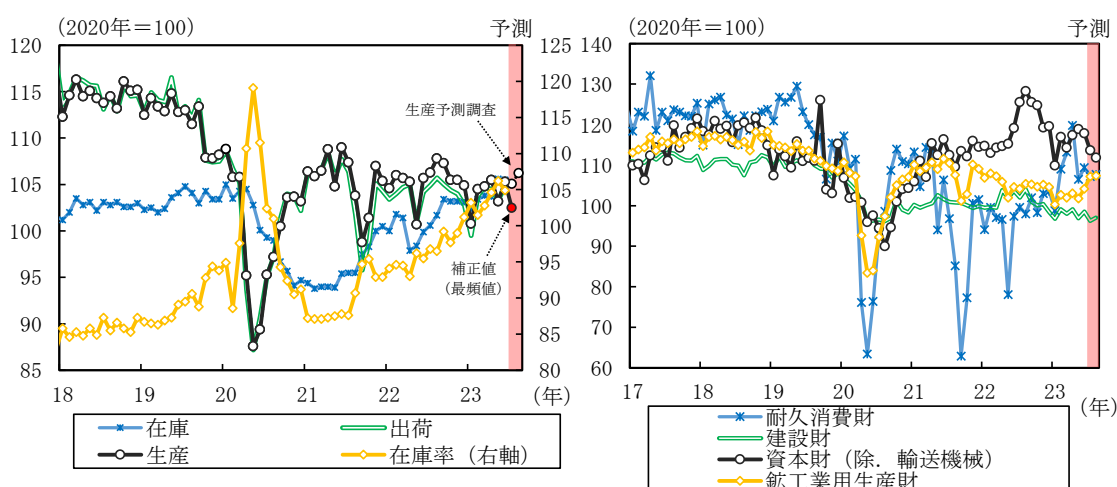
生産指数を業種別に見ると、15業種中10業種が前月から上昇した。自動車工業(前月比+6.1%)が全体を押し上げた。品目別では、自動車の挽回生産が進む中で駆動伝導・操縦装置部品が増産されたほか、普通トラックなども増加に寄与した。なお普通乗用車は単月では減産となったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の2019年10-12月平均を超える水準での推移が続いている。その他の業種では電子部品・デバイス工業(同+6.8%)や汎用・業務用機械工業(同+2.3%)などが上昇した。電子部品・デバイス工業については、モス型IC(メモリ)などが押し上げ要因となったが、これらは前月の減産の反動によるものとみられ、均して見れば減少傾向にある。他方、石油・石炭製品工業(同▲5.3%)は2カ月連続で減少した。

財別では、耐久消費財(前月比+2.7%)、生産財(同+2.1%)、建設財(同+1.7%)が上昇した一方、非耐久消費財(同▲1.1%)や資本財(除. 輸送機械)(同▲0.8%)は低下した。

## 【出荷・在庫】自動車の在庫積み増しや設備投資動向を示す資本財出荷の伸びが一服

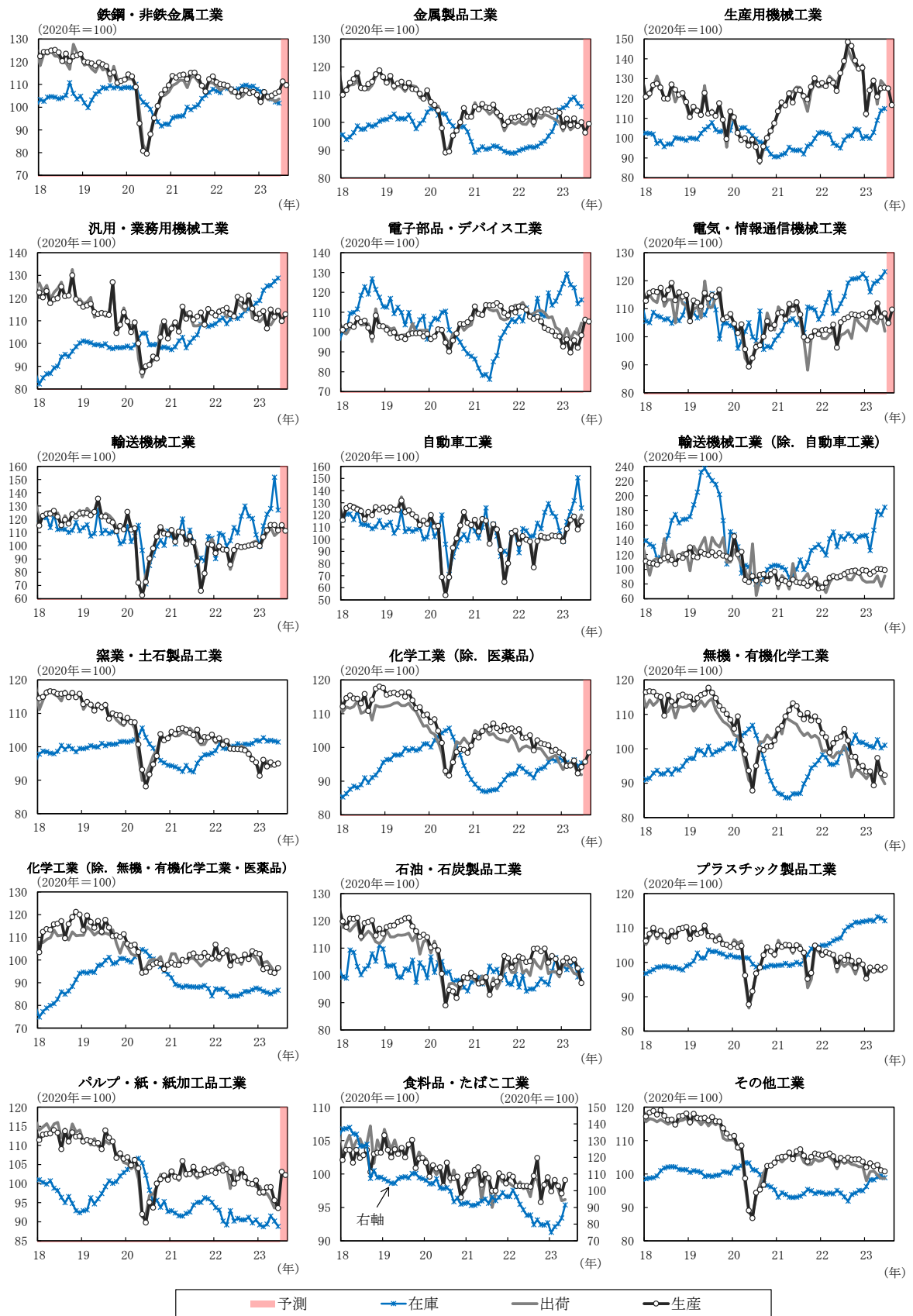
6月の出荷指数は前月比+1.5%と3カ月ぶりに上昇した。業種別では、自動車工業など15業種中9業種が上昇した。財別では生産財や建設財、耐久消費財が上昇した一方、前月まで回復基調にあった資本財(除. 輸送機械)や、非耐久消費財は低下した。在庫指数は同▲0.1%と2カ月ぶりに低下した。このところ普通自動車などの在庫積み増しが継続していた自動車工業が低下に転じ、全体を押し下げた。在庫率指数は同▲1.2%となった。

図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫(左)と財別の生産(右)



(注) 生産指数の予測値(赤色)は、製造工業生産予測指数の補正值。その他シャドー部分の値は、製造工業生産予測調査による。  
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業（除. 医薬品）の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。  
 (注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。  
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成

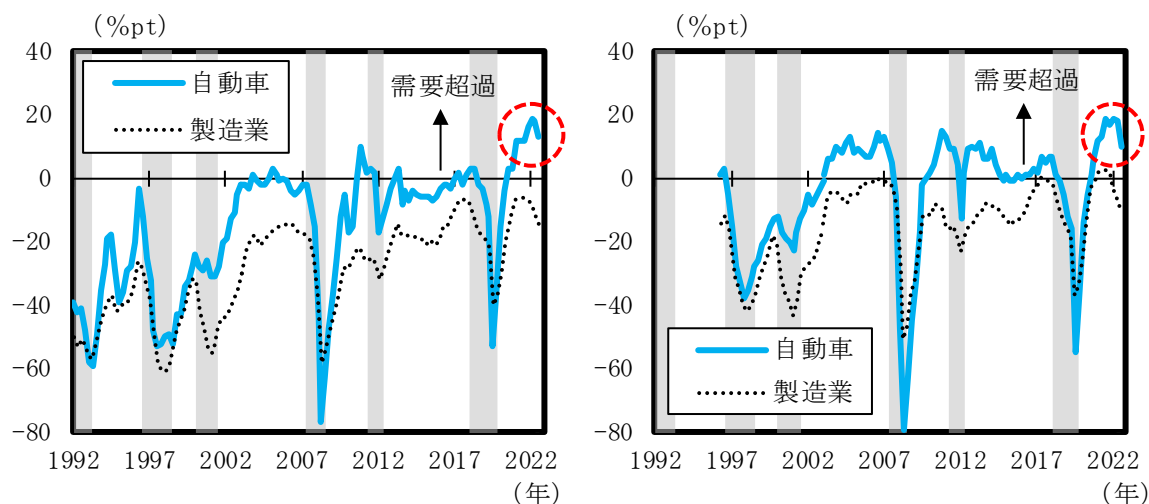
### 【先行き】当面は自動車の増産が生産指数を押し上げるが、外需の縮小には要注意

先行きの生産指数は、自動車工業における挽回生産を主因に緩やかな上昇基調が継続するとみている。日銀短観における需給判断 DI に見る国内外の自動車需要はいまだ高水準にあるが、2023 年 1 月以降は需要超過の程度が緩和しており、自動車の挽回生産が進展しているとみられる（**図表 4**）。半導体不足が解消に向かう中、当面は自動車工業が生産指数を押し上げるだろう。ただし、米欧による金融引き締めもあって資本財などの輸出が停滞する可能性には注意が必要だ。感染拡大の中で積み上がった自動車のペントアップ（繰越）需要が消化されれば、生産指数の回復は鈍化しよう。

製造工業生産予測調査によると、7 月は前月比▲0.2%（生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲2.7%）と見込まれている。業種別では 11 業種中 4 業種が低下見込みとなっている。6 月の増産の反動などによる低下が見込まれている電気・情報通信機械工業（同▲3.2%）のほか、汎用・業務用機械工業（同▲3.9%）や金属製品工業（同▲3.7%）などで減産の計画だ。他方、輸送機械工業（同+3.5%）は増産が計画されている。

8 月は前月比+1.1%と見込まれている。電気・情報通信機械工業（同+4.6%）では、家電・空調・照明器具の増産が計画されている。その他の業種では、化学工業（同+2.9%）や汎用・業務用機械工業（同+2.7%）で増産、生産用機械工業（同▲6.7%）や輸送機械工業（同▲3.7%）で減産が見込まれている。

図表 4：日銀短観における自動車と製造業の需給判断 DI（左：国内、右：海外）



（注）2003年12月調査以前と2004年3月調査以降は連続しない。2003年12月調査については新旧ベースの数値を併記している。シャドローは景気後退期。

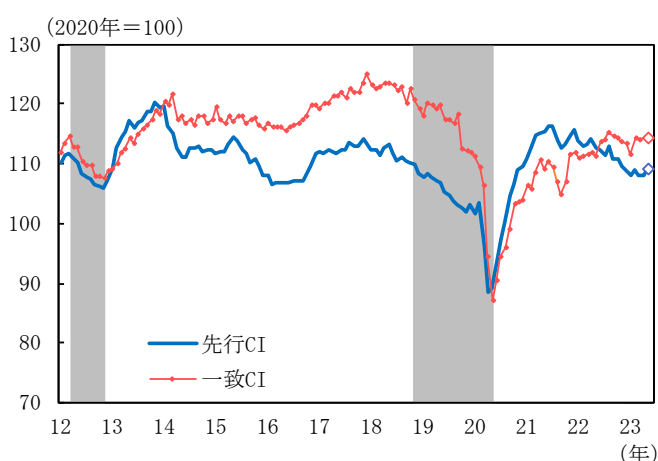
（出所）日本銀行より大和総研作成

## 【6月景気動向指数】一致CI、先行CIはともに上昇か

鉱工業指数の結果を受け、8月7日に公表予定の6月分の景気動向指数は先行CIが前月差+0.1ptの109.3、一致CIが同+1.2ptの115.5と予想する（**図表5**）。先行CIでは構成指標のうち、東証株価指数や日経商品指数（42種総合）、最終需要財在庫率指数などが改善した。また一致CIでは構成指標のうち、商業販売額（小売業）や耐久消費財出荷指数、投資財出荷指数（除輸送機械）などが改善した一方、商業販売額（卸売業）が悪化した。この予測値に基づくと、6月の基調判断は機械的に「改善」に据え置かれる。

先行きの経済活動は持ち直しが続くともみている。供給制約が緩和する中で輸出や生産が緩やかながら持ち直しているほか、国内ではサービス消費やインバウンド消費の回復が継続している。先行きは物価高の継続が予想されるものの、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の「5類」移行や春闘における高水準の賃上げを背景に、堅調な個人消費などが国内景気を押し上げるだろう。インバウンド消費についても回復が続く見込みだが、中国人訪日客の回復は緩やかとみられるため回復ペースは鈍化しよう<sup>1</sup>。

図表5：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移

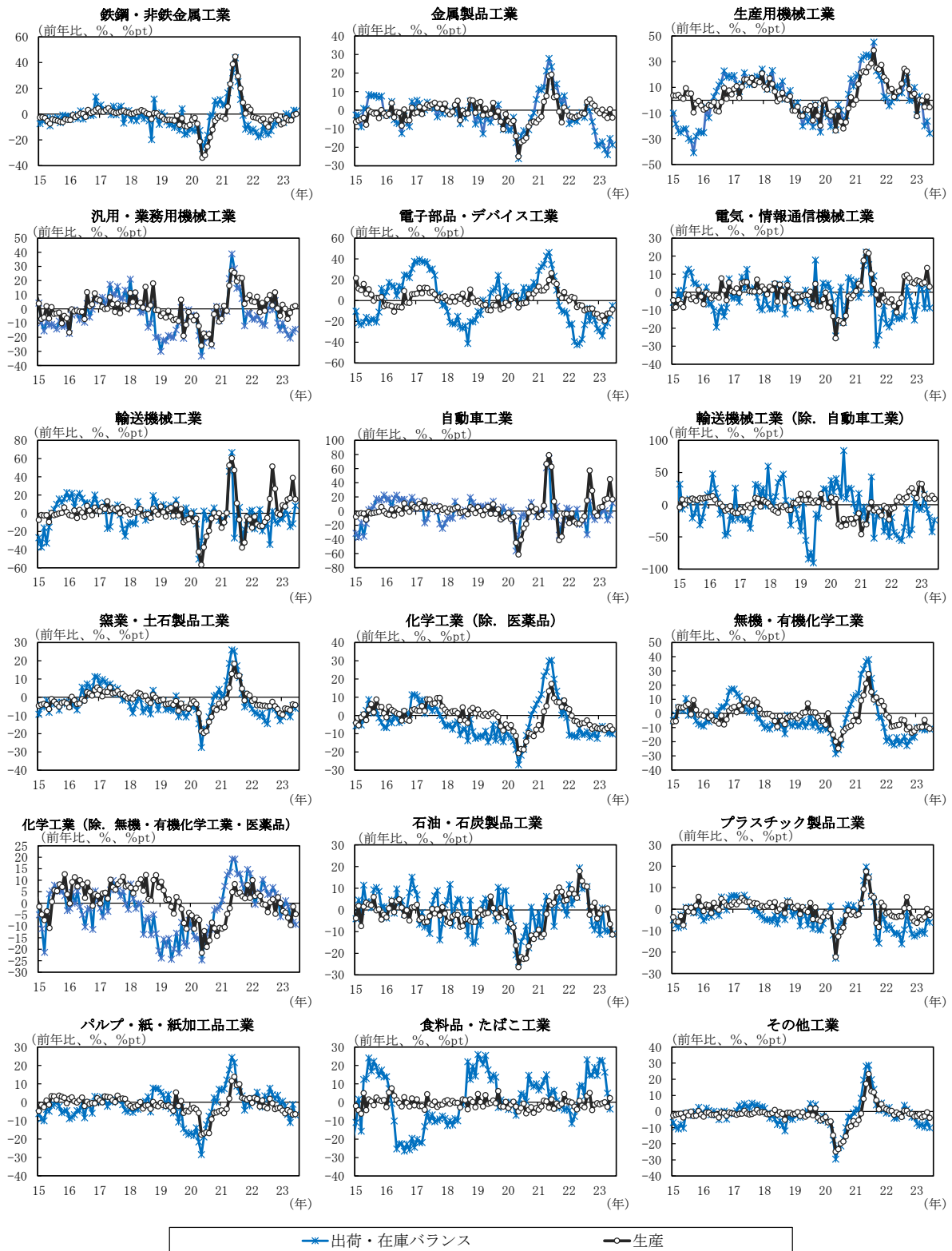


	基調判断		基調判断
2022年1月	足踏み	2023年1月	足踏み
2月	改善	2023年2月	足踏み
3月	改善	2023年3月	足踏み
4月	改善	2023年4月	改善
5月	改善	2023年5月	改善
6月	改善	<b>2023年6月</b>	<b>改善</b>
7月	改善		
8月	改善		
9月	改善		
10月	改善		
11月	改善		
12月	足踏み		

(注) 左図の直近は大和総研による予測値。シャドーは景気後退期。  
右図の2023年4月以前の基調判断は2015年基準によるもの。同年6月は大和総研予想。  
(出所) 内閣府統計より大和総研作成

<sup>1</sup> インバウンド消費の見通しについては、神田慶司・中村華奈子「[日本経済見通し：2023年7月](#)」（大和総研レポート、2023年7月20日）を参照。

## 業種別 出荷・在庫バランスと生産

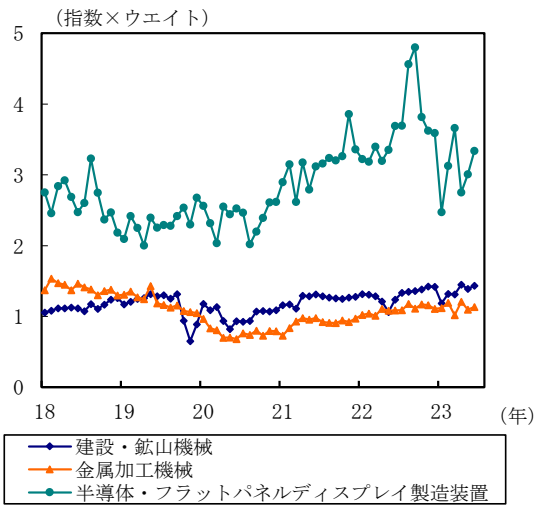


(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。  
 (注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。  
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成

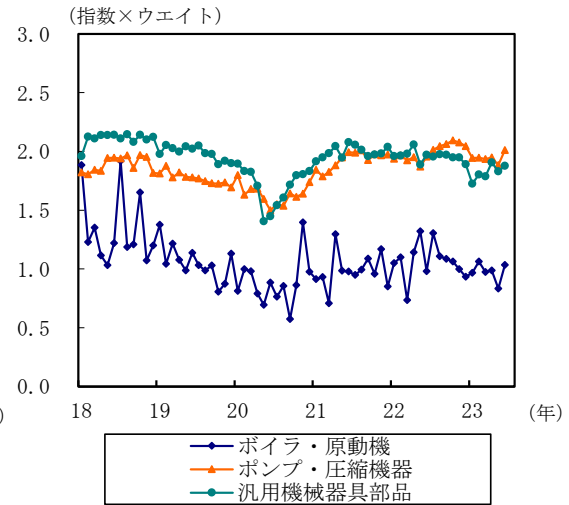


## 主要産業の生産動向 (季節調整値)

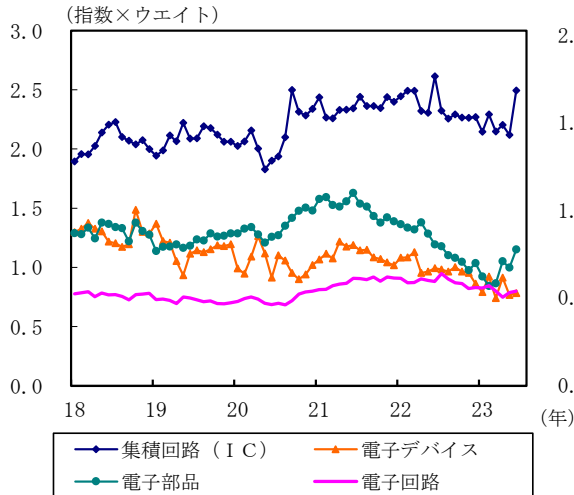
### 生産用機械



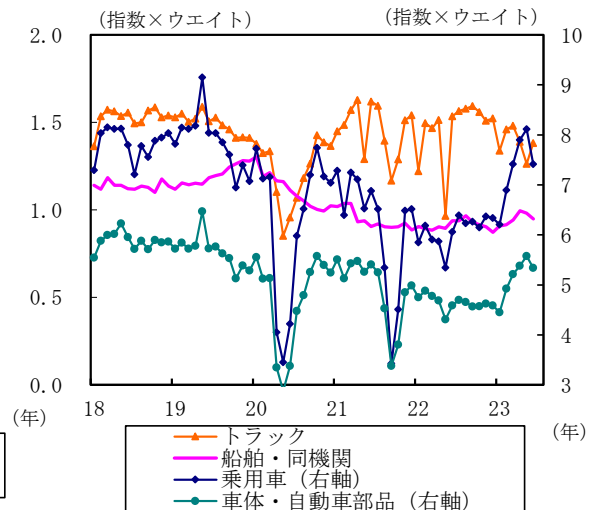
### 汎用・業務用機械



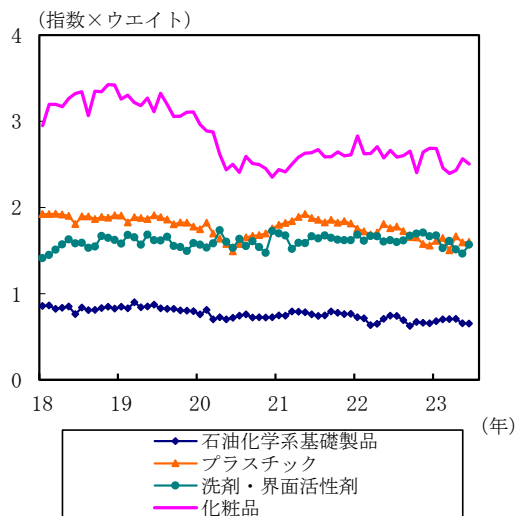
### 電子部品・デバイス



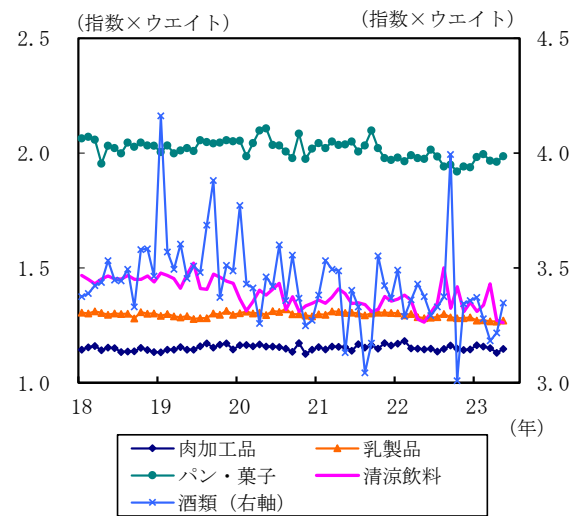
### 輸送機械



### 化学



### 食料品・たばこ工業



(注) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成